

対象クラス	2年 生活文化科 衣文化類型	単位数	3
使用教科書	ファッション造形 (実教出版)		
使用副教材	ファッションデザイン画 (文化服装学院) ファッション&ビューティーの色彩 (日本色研事業)		

「ファッション造形」はこんな科目です。

「ファッション造形基礎」の知識と技術を応用発展させ、デザインや着用目的に応じたファッション造形の知識や技術を習得し創造的に製作する能力と態度を身に付け、ファッション産業やアパレル産業にかかわる人材の育成を目指した科目です。

科目の到達目標 (目標とする検定等)

- ・被服材料を選択・創作して、デザインや着用目的に適したファッション製品を製作するために必要な知識と技術を身に付けます。
- ・創意工夫やアイデアを生かして適切な表現技法により、ファッション製品を創造的に製作することができる能力を身に付けます。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション産業や製品の製作に興味を持ち、創意工夫しているか。 ・作品製作に意欲的に取り組んでいるか。 	授業態度 提出物の提出状況
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のアイデアをファッションデザインに表現するための手だてを、具体的かつ総合的に考えようとしているか。 	定期考査 授業態度 作品
技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・作品製作に積極的に取り組み、新たな技術を習得することができたか。 ・知識と技術を統合し、作品を表現する力を身に付けているか。 ・自分のイメージを作品に表現することができたか。 	実習への取組 作品 発表
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション製品の製作に関わる専門的な知識を理解しているか。 	定期考査 作品

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	1章 衣服とデザイン 1 衣服が届くまで 【前期中間考査】	1 衣服とアパレル産業 2 既製服の流れ 3 注文服の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・アパレル産業について理解する。 ・既製服と注文服のそれぞれの特徴を理解する。
前期期末	2 衣服のデザイン 【前期期末考査】	1 デザインの基本条件 2 デザイン画の描き方	<ul style="list-style-type: none"> ・性能、材質、色、柄などを考慮して被服材料を選択し、適切な取り扱いができる。 ・色彩のイメージや配色の基礎を理解する。 ・イメージや流行に合わせてデザイン画を描く。
後期中間	5章 服飾手芸 【後期中間考査】	1 刺繍 2 染色 3 編み物 その他の服飾手芸	<ul style="list-style-type: none"> ・各種手芸について理解し、技法を習得して作品製作をする。
後期期末	3章 洋服の製作 まとめ 【学年末考査】	女兒服の製作 インターンシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・手芸技法を用い創造的かつ機能的な女兒服をデザインし、美しく仕上げる。 ・インターンシップに意欲的に取り組む。 ・製作作品について分かりやすく説明する。